

## 「由起しげ子特集」掲載にあたって

藏中 さやか

「本の話」により1949年に戦後再開第1回の芥川賞を受賞した由起しげ子(1900~1969)は、1918年から1921年初めに中退するまで、年齢で言えば10代終わりから20代冒頭にかけての期間を、神戸の山本通にあった本学音楽部(当時)で過ごした。

その人生の歩みや発表作品は、『新日本文学全集37 由起しげ子・大原富枝集』(集英社 1964)所収の解説(執筆:平野謙)、『日本現代文学全集91 神西清・丸岡明・由起しげ子集』(講談社 1966)所収の作品解説・由起しげ子入門(執筆:佐々木基一・中村真一郎)や、『女性作家シリーズ6 森茉莉/由起しげ子/萩原葉子』(角川書店 1998)所収の作家ガイド(執筆:中地文)と、各々の年譜等に大凡まとめられ、近時刊行された渡邊澄子『負けない女の生き方◇217の方法』(博文館新社 2014)では「昂然と権力者を批判した、近代市民意識の稀なる持ち主の特異な作家」というコピーと共に紹介されている。

裕福ではあったが家庭的な愛情には恵まれなかった由起は、若き日に音楽を志しながらも、画家伊原宇三郎と結婚して1926年に渡仏、出産、四年ほど後に帰国する。第二次世界大戦が終わったころには四児の母であったが、家庭生活に対する深い悩みを抱える日々を送っていた。執筆活動は、生活維持のために伊原しげ子として書いた児童向け作品の翻訳や童話に始まる。間もなく、編集者八木岡英治の勧めにより、由起しげ子として小説を発表したのであった。

その作品に対する論評は決して多いとはいえないが、前掲の全集類の解説等に加え、相原和邦「由起しげ子」(馬渡憲三郎『女流文芸研究』南窓社 1973.8)、赤木孝之「由起しげ子」(『国文学 解釈と鑑賞』50-10 1985.9)等がある。特に実体験に基づく初期作品については吉村稔が「由起しげ子文芸の形成したものの一女性の自立の意識とエゴイズムの確立—」(『日本文学』30-6 1981.6)、「由起しげ子論—神戸女学院と芥川賞作家の世界」(『神戸女学院百年史 各論』1981)、「由起しげ子文芸における《母性》の特質—(別居体験)の系譜的作品

を中心に」(『園田学園女子大学論文集』19 1984.3)等で詳しく取り上げている。ただし中間小説とされる中期以降の作品や脚本、社会問題に触れる随筆、また作品の映像化等については今後の研究進展が俟たれる状況にある。

2012年、本学図書館は、ご遺族のご厚意により、手稿や日記、手帳、印刷物等六百数十点に及ぶ由起に関する資料の寄贈を受けた。それらを「由起しげ子文庫」として整理し資料目録を刊行したのが2016年3月のことである。この間の経緯は『「由起しげ子文庫」目録』(神戸女学院大学図書館 2016)の「序」に述べた通りである。

今号に掲載する論文三篇は、2016年度神戸女学院大学研究所の総合研究助成による研究(課題名:由起しげ子研究、序説)、研究代表者:藏中さやか)の成果の一部として公表するものである。本研究は、「由起しげ子文庫」に収められる資料を用いて、作家由起しげ子を多角的に掘りおこすことを目的とする。単なる作家研究、作品研究ではなく、映像、メディアとの関わりや由起と音楽との接点を具体的に捉えつつ、当時の社会情勢や女性の置かれていた状況等についても視野に収め、由起しげ子という作家を糸口に戦後日本の文化論をも展開することを目論んでいる。

論文三篇には、重複をさけるため前提となる先行研究のまとめを繰り返して示してはいないが、いずれも先に掲げた先行研究の成果を受けて執筆したものである。各論中で引用する「文庫」資料については、『「由起しげ子文庫」目録』の分類、資料番号を【】内に載せ、資料名を「」で括って示す。なお、資料の引用、写真掲載に際しては本学図書館の許可を得た。論中には同『目録』記載事項を再確認しとりまとめた箇所を含むが、これらの記載事項は、資料整理に従事した本学図書館課長石村真紀氏、同職員碓井美沙季氏、西村絵里氏のご尽力による成果であることを特に記す。由起の著作物については、同『目録』中の「由起しげ子著作等一覧〔第一稿〕」に掲載誌、巻号数等の詳細を載せる。合わせて参照いただければ幸いである。

The following three papers by KURANAKA Sayaka, SASAO Kayo and TSUGAMI Motomi are interim reports of a General Study on Japanese female writer, YUKI Shigeo (1900–1969), subsidized by the Kobe College Research Institute, 2016.

A collection of 666 materials of YUKI Shigeo was donated to Kobe College by her son Mr. IHARA Michio in December 2012 and its catalogue was compiled and published by Kobe College Library in March 2016 as *Catalog of the YUKI Shigeo Collection*.

(TSUGAMI Motomi)